

# ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品（後発品）とは新薬（先発品）の特許が切れた後に、その先発品と同じ有効成分で製造した医薬品のことです。薬の開発費が抑えられ、安価に製造できるため、薬の値段が先発品に比べ安くなっているのが特徴です。

また厚生労働省から「先発品と治療効果は全く同じ※」と認められているという特徴もあります。

ジェネリック医薬品を使用すると、患者様が窓口でお支払いになる「薬の値段」も安く抑えられるのはもちろんのこと、最近話題の「国全体の医療費負担」も軽減できるというメリットがあります。

ジェネリック医薬品をご希望の方は院外調剤薬局にてご相談ください。

※ 治療効果は全く同じでも、外用薬（テープ剤やシップ剤、塗り薬）などでは使用感が異なると感じられる方がまれにいらっしゃいます。

ジェネリック医薬品についてご不明な点がございましたら、医師・薬剤師に遠慮なくご相談ください。

また、厚生労働省、川崎市、当院のホームページなどに詳しい情報が載っておりますので、ぜひご活用ください。



## 「紹介状」をお持ちください

他の病院・診療所を受診している方で、当院を受診される場合は「紹介状」をお持ちいただければ、かかりつけ医と当院で患者さんの情報を共有し、同じ検査や薬などを重複しなくて済みます。また患者さんも余分な支払いをしないで済むようになり、受診時間も短くなります。

当院では、平成28年10月1日より「紹介状」をお持ちでない初診の患者さんに、診療費とは別に「非紹介患者初診加算料」として、5,400円（税込）をご負担いただくことになりました。



## 臨時看護職員募集 看護師・助産師を募集中

川崎市立川崎病院では、臨時的任用看護職員(看護師・助産師)を募集しています。  
ご希望の方は、次の要領でお申し込みください。

- ① 職種 看護師・助産師（免許取得者）
- ② 勤務時間 勤務時間等をご相談に応じます
- ③ 勤務場所 川崎市立川崎病院
- ④ 休暇 期間・勤務時間に応じて有休あり

お申込み・お問合せ：  
看護部管理室へ直接お電話ください。  
☎(044)233-5521(代)

## 医師事務作業補助員募集

川崎市立川崎病院では、病院勤務医の負担軽減のため、事務を補助する臨時的任用医師事務作業補助員を募集しています。

お申込み・お問合せ：  
庶務課へ直接お電話ください。



川崎市立川崎病院  
シンボルツリー

# くすの木

平成28年9月30日発行（第27号） 発行責任者：成松 芳明 編集：広報委員会  
事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521  
<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>

当院では今年度、新たな取組として、市民公開講座及びキッズセミナーの開催、手術用ロボット「ダヴィンチ」導入、緩和ケア外来の設置、がん相談支援センターの開設などを進めています。天候不順が続きますが、皆様には体調に気をつけられ、健康にお過ごしいただけることを願っています。

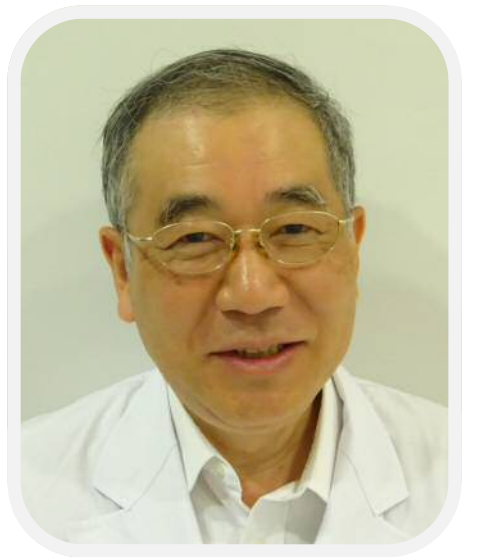
## <副院長就任のごあいさつ>

川崎病院 副院長・地域医療部長 大曾根 康夫  
(医学博士・日本リウマチ学会専門医・指導医)

今年の4月から副院長を拝命いたしました大曾根です。  
地域医療部長を兼務し、地域のかかりつけ医の先生方との連携業務も担当しております。

当院は今年4月から地域医療支援病院の承認をいただきました。  
国の方針として、大規模な地域の基幹病院と診療所などの医療機関の役割が明確に区分されつつあります。川崎南部地域の皆さまの医療ができる限りこの地域で完結するように、また救急医療をますます充実させるため、より良い地域医療連携を推進してまいりますので、皆さまのご協力、ご理解を何卒よろしくお願い申し上げます。

私の専門はリウマチ・膠原病です。関節や筋肉などが痛む、とおっしゃる患者さんがいらっしゃいましたら、拝見させていただきます。よろしくお願い申し上げます。



## 川崎市 ブランドメッセージ

川崎市市制100周年へ向けて、ブランドメッセージが決まりました！  
このブランドメッセージのロゴマークは、赤・緑・青の光の3原色を表し、混じり合うことでどのような色も生み出せる、このまちの可能性と豊かさを表現しています。

当院もこのたび正面玄関前の6本の支柱の塗装劣化補修に際し、市の新しいロゴである三原色をイメージした塗装としました。



Colors, Future!  
いろいろって、未来。  
川崎市



# がん患者さんにご家族のための相談窓口ができました

## 1 がん相談支援センター

がんまつわる、心配事や困りごとについてご相談をお受けします。身体のことだけでなく生活していく上での心配も出てくるでしょう。どんなことでも結構です。患者さんやご家族と一緒に考えていきます。がん相談支援センターは、病気についての情報提供から療養生活の不安なども医療相談室と連携しております。一人で悩まず相談員にお話してください。

### 《こんなとき、がん相談支援センターへ相談してください》

これからどうしたらいいだろう・病気についてもう少し詳しく知りたい・この治療でいいのか不安・どんな副作用が出るのだろう・セカンドオピニオンを受けたい・仕事はどうしたらいいだろう・治療費や生活費のことが心配など。1階21番がん相談支援センターにお越しになるか、お電話でも相談をお受けしております。

市立川崎病院044-233-5521(代)



1階21番がん相談支援センター

#### 【相談時間】

★平日9時～16時です。

★1階21番に来られた場合もお電話の場合も、はじめに「がんの相談です。」とお伝えください。その後、相談員が対応いたします。

## 2 緩和ケア外来



平成28年8月25日、緩和ケア外来を開設しました。「緩和ケア」という言葉は、がんの終末期のイメージが強いようですが、本来は、がんと診断されたときから、身体やこころのつらさをやわらげ、その人らしく穏やかに過ごしていくための医療です。がんの治療を続けていくためのケア、そしてがんであっても自分らしく生き続けていくためのケアが、緩和ケアなのです。

緩和ケア外来は、主治医と協力しながら皆様のお手伝いをいたします。

予約制としていますので、受診をご希望される場合は、がんの治療を担当している主治医へご依頼ください。

時間:木曜日 9時～12時 場所:1階 緩和ケア外来



# 市民公開講座

川崎病院では、身近な病気に関わるテーマを専門の医師がわかりやすく解説する「市民公開講座」を開催しています。市民の皆様が気になる“様々な疾患の詳細”“最新の治療方法”“予防の早期発見方法”等をきめ細かくお伝えしてまいります。

### ○開催日程

10月20日(木) 14:00~15:00	テーマ:「知って安心“お口の病気”」 ～むし歯、歯周病、親知らずからインプラント治療まで～ 講師:歯科口腔外科部長 鬼澤 勝弘
12月16日(金) 14:00~15:00	テーマ:「冬こそ注意!知って防ごう食中毒」 講師:感染症内科部長 坂本 光男

●会場 川崎病院7階講堂 ●定数 120名 ●申込不要、参加費無料!

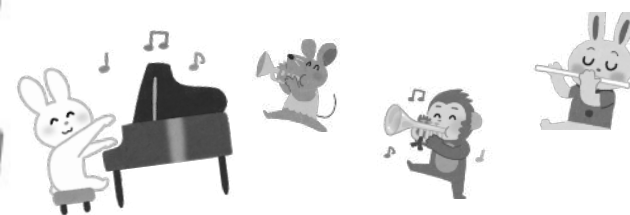
## 川崎病院オータムコンサート

出演 洗足学園音楽大学(金管五重奏団)  
日時 平成28年10月13日(木)午後7時  
場所 川崎病院1階中央ホール

主催 川崎病院ボランティア推進委員会

入場無料

～患者さん、ご家族、ご面会の方も  
ぜひお越しください～



## 産科ホームページを リニューアルしました。

川崎病院は地域周産期母子医療センターとして、新生児内科常勤医師と新生児集中治療室(NICU)6床が整備され、日本周産期新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)を中心に、周産期救急の積極的な受け入れやハイリスク妊娠・分娩の管理を行っています。

年間1000件を超える分娩を取り扱っていますが、外来から産婦人科医師、助産師によるきめ細やかな健診を行い、患者さまひとりひとりについて妊娠期間を通してサポートし、安全な分娩管理を行い、その後の育児まで支援しております。

地域の産科やクリニックとも連携し、地域のみなさまが安心してお産ができる環境を整えることに貢献したいと考えております。

この度、当院ホームページにお産に関わる詳細を掲載しております。一度ご覧ください。